

三ツ峠山&足和田山山行報告

【山行日】2023年 11月 18日(土)~19日(日)

【集 合】岩舟支所 P AM 5:30

【費 用】マイカー1台 : 11,500円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL大西、
関、福島、藤原フ、渡辺

11月18日(土) 晴れ 表登山道から三ツ峠山に登り、山頂からの雄大な富士山を楽しみ、富士見小屋前でラーメンを食べピストンで下山しカトリア荘に宿泊する。



岩舟支所 P5:30=いこいの森 P7:50/8:05~達磨石 8:25/8:30~股のぞき 9:15/9:25~八十八大師 10:20/10:30~屏風岩 11:05~四季樂園 11:20/11:30~三ツ峠山 11:35/11:45~富士見小屋 12:00/12:30~八十八大師 13:00/13:10~達磨石 14:35~いこいの森 P14:40/15:00=カトリア荘 15:50

朝は 11 月らしく冷え込んでいた。フリースを着込んで集合した。皆さんそれぞれに寒さ対策は万全だった。5:30 に予定通り出発、狭山 PA でトイレを使った。八王子 JCT で少し混んでいたが、その



後は順調に進んだ。都留 IC で高速を降りたら市街地を走り山道へ入った。

いこいの森公園 P に着くと靴を履き、トイレ・ストレッチを済ませて歩き出す。舗装された坂道を登って行く。終点から山道に入り、P から 20 分も歩くと達磨石に着き衣服調整。登りで体が温まったので1枚脱いだ。樹林の中にある達磨石には大きな梵字が彫ってあった。

この梵字は大日如来を意味すると、後で知った。なだらかな道を登り、木の股から富士山を覗ける「股のぞき」に着き休憩。富士山が大きい

く見えて嬉しい。頭3分の1位が白い。富士山が見えると幸せな気分になる。自宅近くの跨線橋から見える時がある。それも嬉しいが、東北道から見た時は、少し大きいのもっと嬉しい。圏央道から見た時はもっと大きいのでさらに嬉しい。それよりも大きな大きな富士山が目の前にある。こんなに嬉しいことはない。F 原さんが「山頂近くに八十八のお地藏様がある。」と教えてくれた。楽しみに登って行くが、なかなか着かない。なだらかだった道は馬返しを過ぎると尾根沿いの坂道になった。不二石を過ぎ、左に高いピークが見えて来た。



あれが山頂かと思っていると、やっと八十八大師に着いた。可愛い地藏様が沢山並んでいた。後で本を見たら弘法大師だということだった。八十八大師で大休憩。元気になりどんどん登って



行く。南側斜面で暖かい。大きく左へ回り込み崖の片側に行く道になった。霜柱が現れて寒さをよけいに感じる。水が滴り落ちている所は凍っている。なだらかな道だがアップダウンを繰り返す。右に折れると視界が開け、ロッククライミングの人たちが現れた。屏風岩に来たようだ。装備をした人がたくさんいる。若い人が多いように感じた。人の間を歩いて行くと、後から後からクライミングの人たちが現れる。ロッククライミングのゲレンデとしてこんなに人気の場所なんだと感心した。

最後はアイゼンで登っている人がいた。氷瀑に登る訓練だろうか？屏風岩を過ぎると登りになった。落石に注意しながら急登を登って行くと小さな表示があった。左は三つ峠山荘、右は四季楽苑。右へ階段を登り四季楽苑の正面に出た。風が強く寒い。少し下り左へ回り込み公衆トイレを使う。鞍部を通り、右へ最後の急登を登って行く。右に富士山の素晴らしい姿が見え隠れする。感動もするが寒さも身に染みる。Wさんが先にスイスイと登って行く。さすがはベテランと思った。左にNHKの中継局があった。何か見ると寒さから気がまぎれる。風と闘いながら三つ峠山頂に着いた。大きな石碑に「三つ峠」と彫ってある。立派な富士山が見えている。頭の上に少し雲がある。広がった裾野も見える。ここで見ると上から4分の1位が白いと思える。富士山を十分眺め、写真を撮って下山。鞍部の閉じた山荘跡の前で昼食にした。楽しみなラーメン。ガスがなかなか出ないのでお湯をかけながら調理した。寒い中で温かいラーメンは美味しかった。ここからも富士山が素晴らしく見える。裾野がさらに広い。左の方が茶色い。陸上自衛隊の北富士演習場だと教えて貰った。ここからは頭5分の1位が白いように見えた。それだけ富士山が広く見えている。お腹がいっぱいになると早々に下山。急下りはゆっくり安全に下りて行った。屏風岩を過ぎると、白雲荘跡、神鈴大権現、一字一石供養塔が出て来た。登りにもあったような気がしたがよく覚えてなかった。八十八大師で休憩。富士山を十分眺めた。また下って行くと不二石、愛染明王、馬返しが出て来た。馬返しからはなだらかな道に戻った。股のぞきで休憩。なごり惜しい富士山を十分眺めた。達磨石まで戻ってきて、無事に下山できたことに感謝の祈りをした。綺麗な紅葉を眺めながらいこいの森公園Pに着くと、靴を履き替え 15:00 には出発できた。



三つ峠駅のそばを通る時、Sリーダーが「以前はこの駅からたくさんの登山者が三つ峠山に登っていた。」と教えてくれた。なるほど山岳信仰の盛んな山だったのだと感心した。国道139号を走り、見覚えのある道の駅なるさわを過ぎて50分でカトリア荘に着いた。カトリア荘には八王子ナンバー

のマイクロバスが止まっていた。サッカークラブの子どもたちが 17 人泊まるとのこと。コーチらしき人が 2、3 人いる。お風呂は先に入れるとのことので凄く安心した。2 人ずつなのでWさんたちに先に入って貰い、トイレをゆっくり使ってからお風呂に入った。寒さでお腹の具合がよくなかった。体が温まって少しよくなった気がした。反省会の後、17:40 頃から夕食。ゆっくり夕食を楽しんだ。食べ切れない程のおかずがあった。ご飯を少しにしておかずを味わった。19:00 には布団に入って、疲れのため直ぐ眠りに着いた気がする。頭の白い大きな大きな美しい富士山を十二分に見られて大満足の日だった。

(福島 記)

11月19日(日) 快晴 カトリア荘から三湖台に登り、秀麗な富士山と南アルプスの大パノラマを堪能し、足和田山までピストンで登る、下山後カトリア荘でカレーライスをいただき岩舟支所へ帰着する。

カトリア荘 8:05～三湖台 8:55/9:10～足和田山 10:05/10:30～紅葉台 11:20/11:40～三湖台 11:45～カトリア荘 12:30/13:15＝岩舟支所 P16:10

今日は朝から快晴の予報なので、5時に起きて河口湖の大石公園に富士山を見に出かける。6時にカトリアを出発し文化洞トンネルを抜けて、河口湖畔に出るとカエデ並木の紅葉が素晴らしい。



カメラマンの人達が三脚を立てて、富士山と紅葉のコラボを撮っていた。大石公園に着いて驚いた。駐車場が満車で、今まで見たことが無いほど人で溢れていた。奥の駐車場に車を止め、湖畔の道に出ると秀麗な富士山が迎えてくれる。皆さんこの景色を求めて、大石公園に出向いて来たようだ。我々も富士山の絶景を楽しみながらいつもの遊歩道を散策し、公園の奥で湖畔の砂浜に降り記念写真を撮る。これほどクッキリした富士山が望めるのは、初めての経験で皆さん

感動していた。

秀麗な富士山を堪能したらカトリア荘に戻り、いつもの美味しい朝食をいただく。沢山のお惣菜が並び、炊き立てのご飯と熱いお味噌汁に皆さん大満足。朝食が済んだら出発の準備をし、カトリア荘の前でストレッチを行い出発する。カトリア荘から歩いて5分で登山口に到着、ここから三湖台に向かって登って行く。急坂に少し難儀したが、50分で三湖台の展望台に着く。板張りの広い展望台からの展望は素晴らしく、雪化粧した富士山が真近にドーンと聳え、南アルプスの銀嶺が連なっている。冷え込んだ分空気が澄み渡り、富士山や南アルプスの山がくっきりと見え素晴らしい。いつまでも見ていたい気持ちを抑えて、足和田山に向かって歩いて行く。三湖台から足和田山までは、標高差150mの稜線を緩やかなアップダウンを繰り返し登って行く。



この道は東海自然歩道を歩き、整備された遊歩道はとても歩き易い。自然林の遊歩道には紅葉が



残っており、樹間から望む富士山とのコラボが素晴らしい。富士山を見ながら爽快に歩き、樹林帯の道を抜けると足和田山山頂に出る。山頂には大きな展望台が建ち、山頂標識やベンチもあり多くの登山者で賑わっていた。ここからの富士山も素晴らしくベンチに腰掛け、秀麗な富士山を眺めながらプリンや柿をいただく。おやつタイムが済んだら下山開始し往路を戻るが、途中から並行する林道を下って行く。林道はピークを巻いて行くのでアップダウンが少なく、距離も短縮できるので紅葉台

まで楽しんで歩く。紅葉台のレストハウスで有料トイレを利用し、屋上の展望台に上がって大パノラマを楽しむ。ここからの展望も素晴らしく、去年歩いた青木ヶ原樹海や大室山が良く見え、徳ちゃんが「去年はあそこを歩いたんだ」と嬉しそうに眺めていた。展望を楽しんだら三湖台まで戻り、登山口に向かって急坂を降りて行く。下りの登山道は霜柱が融けてぬかるんでいて、ロープや木に掴まりながら慎重に下って行く。下りに時間が掛かったが予定通りカトレア荘に着き、お願いしておいたカレーライスをいただいた。野菜サラダが付き、宿の女将さんが作るカレーは絶品である。これが500円で食べられるのだから、感謝！感謝!である。ランチが済んだら女将さんとお別れである。女将さんの心遣いに感謝の挨拶をし、車に乗って岩舟支所に向かう。中央道は小仏トンネルまで渋滞があったが、圏央道は順調に走り予定撮り早く岩舟支所に帰着した。2日間素晴らしい富士山に出会え、皆さん大満足山行となった。

